

島根原発の耐震安全性問題 島根半島・地震性隆起年代推定へ 党県議団、市議団らが化石調査



島根原発の耐震安全性問題に取り組む、日本共産党島根県議団・松江市議団は7日、松江市島根町加賀・桂島で「ヤッコカンザシ」(ゴカイの仲間の海棲生物)の遺骸化石(海水面付近に生息していた海棲生物が地震性隆起によつ

て押し上げられて死に、岩石に付着して化石になったもの)を発見しました。(写真)
11日には、大田市の五十猛海岸でも「ヤッコカンザシ」の化石が発見されました。
今回発見された化石の放射性炭素年代測定により、生物が死んだ時期は地震性隆起が起こった時代を特定することができると見られます。また、活断層が動いた時期や、近隣の活断層との連動性の解明にも迫ることができるとされています。

7月から実施している化石調査には、尾村利成、大田陽介の両島根県議、錦織陽子・鳥取県議、片寄直行、橘祥朗、吉儀敬子の松江市議団ら、延べ50人が参加。
調査団長の尾村県議は「指導者の立石雅昭・新潟大学名誉教授とともに行政や中国電力に対し、地下構造の徹底的解明と原発の再稼働問題について申し入れを行いたい」と話しています。

9月10日(土)午後1時半からは、松江市の教育会館402で立石雅昭氏を迎えて調査報告講演会が開かれます。
立石雅昭・新潟大学名誉教授のコメント
島根半島で初めて、最も低い波食ベンチに付着するヤッコカンザシの遺骸が発見されました。この化石の年代が測定されれば、波食ベンチが地震で隆起した年代が明らかになります。
島根半島には数段の波食ベンチが認められますが、こうした生物の遺骸化石が他の高さの波食ベンチでも発見されれば、この海岸の最近の隆起運動の様子がより詳しく明らかになるでしょう。

地域の話

温泉施設利用料 井原議員が質問

井原議員「市は昨年度、公共施設の利用料の値上げを実施した。その結果、温泉施設では利用者大幅に減少し、収入も減額となっている。速やかな料金の是正を求めるがどうか。」

部長「受益者の適正負担の観点などから、主に4000〜5000円程度だった使用料を、高校生から65歳未満について一律6000円に値上げし、利用者は全8施設で減少した。将来の設備更新などの負担を軽減するため、多くの施設で民間譲渡をめざしている。利用

料の値下げはしない考えである。(井原ゆうの議会報告より)

三江線存続問題 報告会開かれる

JR三江線の存続について、江津市では6日に桜江町と川平町で経過報告会が開催されました。質疑応答では、住民から「バス転換しても周辺部は取り残される」、「地方の良さを10年、20年先に残すためにも存続させてほしい」、「JR西日本は年間600億円の黒字。黒字企業なら三江線を切り捨てるべきではない」などの意見や要望が出されました。

質疑は、バス転換した場合のJR側の費用負担にも及びましたが、JR側は「まだ廃止が決まったわけではない」と、自ら発した「廃止検討」にも関わらず、無責任な態度に終始しました。(「こつ民報」より)

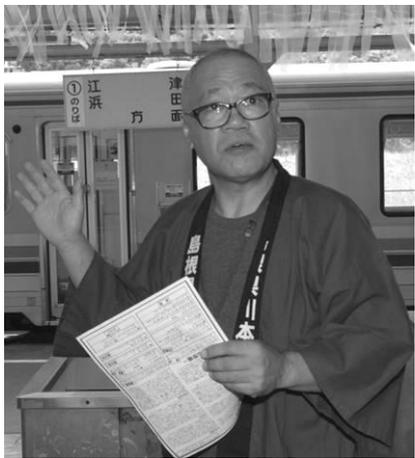
中小企業振興条例 山口議員が質問

山口議員「中小企業振興条例」の制定についての考えは。

課長「国の「小規模企業振興基本法」などにうたわれている基本理念などは重要な視点であると考えている。いかに具体化するというプロセスが大切と考える。今後、関係団体などと協議の場を持ち、検討していきたいと考えている。(「民報かわもと」より)

JR三江線・石見川本駅で 街中案内を続ける

有田 恭二 さん(63)



JR西日本が廃止を検討している、島根県江津市と広島県三次市を結ぶ三江線(108.1キロ)。島根県川本町の石見川本駅で連日、観光客に街中案内と三江線の存続を訴えています。
町観光協会の元嘱託職員。三次駅発の列車が正午過ぎに着くと、乗り継ぎ列車が出るまでの90分間に案内します。自分の方から声をかけ、手作

りの地図を渡して、近くの食堂や世界遺産の石見銀山にかかわり交通と経済の要衝だった町の歴史を紹介。「鉄道を廃止させなくてはならない。鉄道は住民の権利です。大企業が過疎に悩む沿線市町の灯を消していいのか」と力説しています。

この3年間で7508人を案内し、存続の署名は約800人分を集めています。昨年10月に廃止の方針が示されて以降、全国や海外からの観光客が増え、「聞いて訪ねた店の料理が美味しかった」などのような案内人は初めてと評判です。「沿線の景観と人情、地域のひととの交わりを伝えたくて立ってききました。が、今では全国に仲間が増え、後押しされています。」



同町で生まれ、踏み切りの音は時計代わりでした。町職員を退職した3年前に、町観光協会の嘱託になり、案内を始めました。今春で嘱託も退職しましたが、活動を続けています。

「沿線の風景や、ゆっくり走る列車への反響も大きい。良さを思い出してくれた人たちに対しては、三江線はなくしてはなりません。」
文・写真 桑原 保夫

案内板

第4回松江革新懇総会 & 記念講演

9月3日(土) 午後2時～
教育会館4階会議室(松江市母衣町)

記念講演
「新しい政治へ、選挙での重要な一歩」
講師：福島浩彦氏
(住民目線で政治を変える会・山陰)

☆資料代300円
☆記念講演後に「総会」を開催します。